

# 申請書の書き方

公益財団法人日産財団

下記はあくまで参考であり、必須条件ではありません。皆様の知見・アイデアが存分に活かされた、充実した内容の応募が集まることを期待します。

## 【研究テーマ】

本項は、研究のキャッチコピーです。研究内容が端的に分かるようなものが望ましいです。

研究テーマの三要素である、以下の3項目が入っていると分かりやすくなります。副題は、必須ではありません。

- ①研究の目指す姿(「～を目指す」「～を育てる」等)      ②研究の領域・分野(「～における」「～の分野」等)  
③研究の手立て(「～を通して」「～による」等)

例) ……を育てる〇〇〇の学習指導  
— 〇〇〇における□□□の工夫を通して —

## 【テーマ設定の背景とねらい】

本項では、テーマの目的・意味・価値を説明してください。社会的・学術的背景や、学校や子供の実態を手がかりに、本テーマを設定した理由を述べてください。

例) 学習指導要領では、……ということが求められている。＜社会的・学術的背景＞  
本校では、……という現状がある。＜実態・課題＞  
そこで本校では、……という考えから、研究テーマを……として設定した。

## 【本研究によって目指す子供像】

本項では、実践研究により、【テーマ設定の背景とねらい】で挙げた課題を解決できた時に、子供がどのように変容(成長)し、どんな姿(態度)になるのか具体的に記載してください。学校で掲げている目標をそのまま記載されていることがありますが、実践研究を通して育成する資質や能力に焦点をあてた、より具体的な設定とすると、後述の【仮説と検証方法の設定】を記述しやすくなります。

例) 以下、3つを目指す子供像として設定する。

- ・明らかにしたい問題に対して、解決するための道筋を立て、粘り強く検証しようとする子供
- ・科学技術・原理を「不変なもの」として捉えるのではなく、問題点や改善点を見出し、新たな可能性に着目する子供
- ・多様な知識や考えを関連付けながら創造的に思考し、自らの考えを創り上げる子供

(応募申請書より一部抜粋の上、改変)

## 【仮説と検証方法(評価の視点と手法)の設定】

本項では、研究仮説を提示してください。また、仮説を受けた適切な検証方法も提示してください。なお、検証方法(評価の視点と分析方法)は、できるだけ具体的に示してください。検証にあたっては、質的(個の変容の把握)をベースに、可能であれば量的(数量的・統計的把握)にもアプローチできると良いでしょう。

例) 仮説は、「〇〇〇(研究対象の領域・場)において、□□□(手立て)をすれば、子どもたちの◇◇◇(資質・能力)が育成され、△△△(目指す子供像)になるであろう」とする。  
評価の視点は、「①知識及び技能、②思考力・表現力・判断力、③主体的に学習に取り組む態度、④他者との協働」の4つの観点とする。

分析方法は、下記4つの方法を用いて検証する。

- (1) 実験レポート・ノートの記述分析
- (2) 授業録画による行動分析
- (3) 複数の授業者の協議による学習者の変容の評価
- (4) アンケートによる意識調査(選択式および記述式 200 文字程度)

この際、「・・・」や「・・・」などの、〇〇な視点を持った記述や発言に着目して分析する。

(応募申請書より一部抜粋の上、改変)

### 【実践内容】

本項では、助成金を活用した本研究として、どのような場面(学年・単元)で、何を狙って、どんな実践をするのかを具体的に記載してください。また、助成金を使って準備するものを、どのように活用するのか示してください。仮に、取り扱う単元や学年の幅が広くて実践内容全てを記載できない場合には、想定している授業例を記載するなど、どのような実践であるのか伝わるようにしてください。また、教師側の活動と、子供側の活動の双方が記載されていると良いでしょう。

### 【実施スケジュール】

本項では、実践研究をいつ、どのように進めるのか、1年間のスケジュールを具体的に記載してください。実践研究の実現可能性をはかる参考になります。

例)

月	段階	主な研究活動	備考
4-5	研究体制の 確立	1.子供の実態把握 2.研究の方向性と実践内容の共有 3.研究環境整備	1.事前意識アンケート 2-①講師を招いての研究検討会 ②全教員を集めた合同研修会 3.教材の見積・購入

### 【研究成果について】

得られた研究成果は、次につなげていくことに価値があります。「(1)成果を自校でどう活かすのか」では、自校としてどのように発展させることが想定できるのかなど、将来の研究の発展可能性について記載してください。「(2)成果を他の学校や地域にどう発信していくのか」では、得られた成果を自校の中に留めず、他の学校や地域などの知見となるよう発信していく方法を記載してください。

### 【助成金の内訳と主な用途】

本助成は研究助成ですので、研究仮説の検証のために助成金が支出されなければなりません。そのためには、実践内容を明確にした上で、何をどの程度購入予定なのか、できるだけ具体的に示してください。

※各項目は、密接にリンクしています、整合性が認められるように記載してください。

<参考文献>

群馬県教育研究所連盟(2001)『改訂新版 実践的研究のすすめ方—創意工夫を生かした教育を求めて—』, 東洋館出版社

茨城県教育研修センター(2010)『課題研究の進め方』